

令和3年度  
第1回岡山市総務・市民政策審議会における主要な意見

1 日 時 令和3年8月19日（木）午後1時30分から午後2時30分まで

2 場 所 岡山市役所 議会棟3階 第1会議室

3 出席者 委員 9名

4 傍聴者 報道 0名 傍聴者 0名

5 議 題 岡山市文化芸術基本条例（仮称）の制定について

6 第1回岡山市総務・市民政策審議会での主な意見

- ・条例の作成は行政だけで行うのではなく、市民の意見も十分取り込みながら検討をお願いしたい。
- ・文化について、共通の価値観と多様性の両方を絶えず包括するような形を心掛けてほしい。
- ・対立構図になりがちな「新しい文化」と「伝統文化」について、総合計画の理念に沿って整合性を図りながら、新しい推進計画に盛り込んでいってほしい。
- ・岡山芸術創造劇場の開館を契機としたイメージがあるが、もともとある歴史遺産や美術館等も網羅した普遍的なものにしてほしい。
- ・理念の中に「自主性、創造性の尊重」とあるが、文化では「自主性」という言葉よりも「主体性」のほうがイメージに合致すると思われる。
- ・前文について、文言を誇り高く、文化の薫り高く、書いてほしい。
- ・過去10年を振り返って、岡山市の文化活動が地域に一体何を与えたのか、どんな変化が起きたのか、というところを前文に反映させてはどうか。
- ・岡山市が対象者としてずっと認識しているという意味で、どこかに「乳幼児」の文言を入れてほしい。
- ・生活困窮など芸術や文化に触れにくい環境にある子どもたちへの目線も大事にしてほしい。